

実施要項

講座名称：「高冷地域応用フィールド演習」 2単位

担当教員：春日重光、今井裕理子

対象学生：全国の大学生

応募要件：高冷地及び準高冷地農業に興味のある方

募集人員：20名

※応募者多数の場合は、受講志望理由書等により選考いたします。

実施時期：全3回

第1回：令和5年6月10日（土）

第2回：令和5年6月24日（土）

第3回：令和5年9月13日（水）～9月15日（金）

※1～2回のみでの参加も可能です。但し、その場合は単位認定対象外となります。

集合時刻：第1回：9：00（伊那キャンパス管理棟ロータリー）

第2回：9：00（伊那キャンパス管理棟ロータリー）

第3回：9：00（伊那キャンパス管理棟ロータリー）

集合場所：信州大学農学部管理棟前ロータリー（長野県上伊那郡南箕輪村8304）

※集合場所へのアクセスは信州大学農学部HPを参照。

（<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/access/>）

※各集合場所までは公共交通機関を利用すること。

実施場所：信州大学農学部AFC 構内ステーション

長野県上伊那郡南箕輪村8304 TEL：0265-77-1318（附属施設係）

内容・計画：信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター（AFC）には、フィールド科学の実践の場として、準高冷地である伊那キャンパス構内に設置された構内ステーションがあります。構内ステーションには21haの農場があり、果樹、野菜、花卉、ソバ、マメ類、飼料作物を栽培しています。こうした環境のなかで環境保全型農業に関わる教育、研究を推進しています。

この演習では教員および技術職員の指導により、準高冷地の構内ステーションの生産圃場において野菜及び果樹類を教材として、野菜圃場の準備、播種、定植から収穫、出荷までの一連の作業と果樹の収穫・管理作業を通じて生産技術の習得を目的に、複数回の実習形式で行います。また、講義や近隣施設の見学を適時行いながら、現場での栽培技術や6次産業化をめざした安定生産技術を習得し準高冷地及び高冷地における園芸作物の生産や流通システムについて理解を深めます。

本年度の計画は以下の通りです。また、第3回の演習の中で、準高冷地・高冷地農業および自然環境全般について研究および体験発表等を行います。

第1回：野菜類の播種と育苗（9：00～12：10）

第2回：圃場のマルチ張り、野菜苗の定植・管理（9：00～12：10）

第3回：園芸作物の栽培管理と収穫・出荷、生産者の圃場視察、園芸作物に関する講義
（9：00～12：10、13：30～16：10 ※最終日は15：00終了予定）

※天候および野菜の生育状況、受講学生の専攻等により計画を一部変更することもあります。

す。

※令和5年度は信州大学新型コロナウイルス感染症対策本部が定める「新型コロナウイルス感染症に係る令和5年度のカリキュラム編成等のガイドライン」に基づき、感染対策を講じたうえで、原則として対面で実施します。

※実習を実施する場合は、「新型コロナウイルス感染拡大を防止する教育研究等の活動の指針」（令和4年9月21日変更）の内容を順守することとします。活動指針に変更があった場合は最新の活動指針に従うものとします。

（参考：<https://www.shinshu-u.ac.jp/news/2020/01/post-49.html>）

※新型コロナウイルスの感染拡大状況、台風、地震等のやむを得ない事情によって、実習中止もしくは日程変更になる可能性があります。

※実習中止もしくは変更になる場合はAFCホームページ上でお知らせいたしますので、随時ご確認ください。

（<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/news/>）

参加費用：不要。ただし、集合場所までの旅費は自己負担です。

第3回の宿泊について、宿泊を要する参加者には農学部近隣の宿泊施設を斡旋します。詳細については別途お問い合わせください。

提出書類：自大学の学務(教務)担当者と相談の上、下記の書類を提出してください。

下記、IとIIの受入身分の違いによって提出書類が異なるのでご注意ください。

※受入身分について等、不明な点がある場合は下記問合せ先へご連絡ください。

I. 単位互換協定の協定校の学生等で特別聴講学生となる場合

以下6点の書類（①②③④は下記URLよりダウンロードできます）を所属大学・学部の学務（教務）係等へ提出してください。

①受入依頼書（履修希望学生の所属大学学部長から信州大学農学部長へ）

②履修願（履修希望学生から信州大学農学部長へ）

③申告書（履修希望学生から所属大学学部長へ）

④受講志望理由書

⑤学生教育研究災害保険及び学研災付帯賠償責任保険の加入証明書の写し

⑥成績証明書

※書類は所属大学・学部の学務(教務)係等にお問い合わせください。

II. 特別聴講学生とならない場合

以下3点の書類（①②は下記URLよりダウンロードできます）を希望学生自身が送付先まで提出してください。ただし指導教員、クラス担任等の押印が必要です。

①申込書

②受講志望理由書

③学生教育研究災害保険及び学研災付帯賠償責任保険の加入証明書の写し

※所属大学によっては、正課ではない授業には保険が適用されない場合がありますのでご確認ください。

※ I・II共通 様式ダウンロードURL：

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/>

（「高冷地域応用フィールド演習」参加者募集のお知らせ内のリンクをクリック）



書類送付・問合せ先：

信州大学農学部学務グループ

住所：〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304

Tel：0265-77-1309 Fax：0265-77-1313 Email：agakumu@shinshu-u.ac.jp

※送付の際には、封筒の表に「公開実習受講申込書在中」と朱書き願います。

提出締切：I・IIとも令和5年4月27日（木）信州大学農学部必着

受講許可：書類の提出後、受講の可否について本人に通知します。

履修上の注意事項：

I. 特別聴講学生となる場合

修了者には信州大学農学部から所属大学・学部の学務（教務）宛に単位修得証明書を発行します。

II. 特別聴講学生とならない場合

修了者には「修了証」を発行します。自大学で単位の認定を希望する学生は、事前に自大学学務担当係等に確認してください。

受講にあたっての注意事項：

風邪の症状、発熱、倦怠感など体調に異変を感じた場合は、無理をせずキャンセルしてください。

※キャンセル連絡先：信州大学農学部学務グループ TEL：0265-77-1309
（実習前日（土日を含まない）13時まで）

その他特記事項：

◎持参物

全回共通：水筒、医療保険証（必要な方は常備薬）、作業着^(注1)、帽子（収穫作業＋日焼け防止用）、手袋（軍手等）、ゴム長靴、カップ、日焼け止め、筆記用具、集合場所までの交通費

◎食事

第3回の昼食は各自で用意、持参してください。

◎欠席について

- ・欠席する場合は、1週間前までに信州大学農学部学務グループまで申し出てください。
- ・直前にやむなく欠席・遅刻する場合は、各回演習の前日（土日を含まない）13時までに信州大学農学部学務グループに連絡してください。
- ・当日は春日携帯（TEL090-5758-7544）に必ず連絡してください。

注1：長袖、長ズボン等、動きやすく汚れてもかまわない服装であれば、特に指定はありません。
ジャージ上下、つなぎ等も可能。